

業務用 Android アプリ開発ツール 新製品「Rundlax」発表

システムズ・デザイン株式会社（本社：東京都杉並区、代表取締役社長：隈元裕、以下「システムズ・デザイン」）のグループ会社であるシェアードシステム株式会社（東京都豊島区、代表取締役社長：青木誠治、以下「シェアードシステム」）は、新製品「Rundlax（ランドラクス）」を2022年5月6日に発表しました。2022年7月に正式リリースの予定です。

新製品「Rundlax」（ランドラクス）について

Android 端末に特化した業務アプリケーション開発用のプラットフォーム（ミドルウェア）です。

Rundlax を使うことで、スマートフォン、タブレット、ハンディターミナル向け業務アプリケーションの開発が可能となります。従前に比べ、処理速度は50%以上向上（※1）し、データ量は50%以上削減（※2）を実現しました。

製品の名前の由来は、Rundle(車輪)+Axis(軸)の造語です。

アプリケーションのベース(軸)として、様々な機能(車輪)を提供し、車輪と軸を組み合わせると前に進むように、お客様と共に進んでいきたい。という願いが込められています。

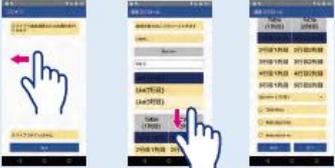
<https://www.sharesys.co.jp/news/%e6%96%b0%e8%a3%bd%e5%93%81%e3%80%8crundlax%ef%bc%88%e3%83%a9%e3%83%b3%e3%83%89%e3%83%a9%e3%82%af%e3%82%b9%ef%bc%89%e3%80%8d%e7%99%ba%e8%a1%a8/>

※1 シェアードシステム従来製品比によります。

※2 画面定義ファイルのサイズ削減量となります。

特長① Androidの基本操作

Rundlaxでは、Androidの基本的な操作に対応しており、スワイプでの画面遷移や画面スクロールが可能です。



特長③ カスタムコントロール

Rundlaxでは、標準的な画面オブジェクトを用意していますが、アプリケーションの開発者がカスタマイズして、独自の画面オブジェクトを表示する事が可能です。



特長② 画面一部更新

Rundlaxでは、サーバから表示データを受信して画面を表示しますが、画面の一部分だけの表示データを受信して画面を更新することで、通信データ量を削減できます。



特長④ デバイス制御

Rundlaxでは、Android 端末のブザー、バイブレーション、物理キーや、機種によっては端末内蔵のバーコードスキャナが制御可能です。



シェアードシステム株式会社について <https://sharedsys.co.jp>

シェアードシステムは、物流業界に強みを持つ受託開発及びソフトウェア製品開発を事業として行っております。約 18 年間、物流・流通・倉庫業務におけるハンディターミナルで圧倒的な強みを持つ開発ツール「HaiSurf シリーズ」の開発、販売、導入サポート及び保守を行っており、国内外含め 800 社以上で稼働の実績を持っております。

シェアードシステムは、優れたデジタル技術でお客様の開発コスト・運用コスト・操作ミスを軽減し、物流業界の DX 化推進に貢献します。

本件に関するお問い合わせ先 システムズ・デザイン株式会社 IR 担当

E-mail : sdcir@sdcj.co.jp

本製品に関するお問い合わせ先 シェアードシステム株式会社 営業本部

TEL : 営業本部直通 03-6869-8347 E-mail : sales-head@sharedsys.co.jp